

2026 人権教育・啓発 DVDリスト



南丹市・南丹市教育委員会

人権啓発DVD利用の手続き

<貸出について>

- 1 一覧から希望されるDVD, 機器(プロジェクター、スクリーン)等をお選びください。

※1回の借用期間は7日以内、貸出DVDは3本以内を原則とします。ただし、貸出が集中する時期(10月～12月)は本数や期間を制限する場合があります。

- 2 電話等で貸出状況をご確認ください。

市民部 人権政策課 : TEL 0771-68-0015

教育委員会 社会教育課 : TEL 0771-68-0057

- 3 使用申請書(様式1)に必要事項をご記入いただき、市民部 人権政策課(市役所中央庁舎2階)まで提出してください。

- 4 借用希望日に窓口でお受け取りください。

<返却について>

研修会が終わりましたら、教材、機器に破損がないか確認いただき、返却予定日までに窓口に戻却してください。

<実施報告書(様式2)の提出について>

研修会実施後は、実施報告書(様式2)をメール、FAXまたは窓口へ提出してください。

【メールアドレス: be-syakai@city.nantan.lg.jp、FAX: 0771-63-2850】

<その他>

- 1 著作権法上の規定により複製(ダビング)等は禁止されています。
また、転貸しはしないでください。
- 2 貸出・返却は、平日の午前9時から午後4時30分までをお願いします。

人権啓発DVD一覧

教材番号	題名 時間:購入年度	イメージ	あらすじ・ねらい
25-1	部落差別 ～まだあるの？どこにあるの？なくせるの？～ 30分:2025年度		近畿大学名誉教授 奥田均さんの講演記録。 2016年に部落差別解消推進法が施行されてからもまだまだ残る「まだあるの？どこにあるの？なくせるの？」という素朴かつ根本的な問いに、分かりやすく丁寧に答えます。
25-2	聴く力 ～相手を想う 傾聴コミュニケーション～ 23分 2025年度		本教材では、「障がい者」「外国人」「LGBTQ+」「部落差別」「ジェンダー」といった人権課題をテーマに、異なる想いや悩みを抱える人々に気づき、相手の声に耳を傾けることの重要性を示します。
25-3	話す力 ～ハラスメントを防ぐ 対話のアップデート～ 23分 2025年度		本教材では、「セクハラ・アルハラ」「パワハラ」「ケアハラ」をテーマに取り上げ、異なる意見や経験を持つ人々が互いを理解し、尊重するためには、どのようなコミュニケーションが大切かを示します。
25-4	みんな笑顔になる日まで ～ヤングケアラーの少女～ 30分 2025年度		「ヤングケアラー」「若年性認知症」を描いた作品で、支援を必要としている人々のことを正しく理解し、どのように関わっていくかを考える一助となるよう制作されています。
25-5	窓の向こうへ ～わたしもあなたも大切なんだ～ 36分 2025年度		犯罪被害者やその家族の人権(12分)については被害者支援の相談支援員が、ヤングケアラー(11分)については相談支援員が、インターネットによる人権侵害(8分)についてはメディアリテラシー教育の専門家が、それぞれ解説します。
25-6(協)	破戒 ～この戒めを破り明日を生きる～ 119分 2025年度		島崎藤村、不朽の名作「破戒」を60年ぶりに映画化。瀬川丑松は、自分が被差別部落出身ということを隠して、地元を離れ、ある小学校の教員として奉職する。彼は生徒に慕われる良い教師だったが、出自を隠していることに悩み、また、差別の現状を体験することで心を乱しつつも、下宿先の士族出身の女性・志保との恋に心を焦がしていた。友人の同僚教師・銀之助の支えはあったが、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始める。丑松は、ある決意を胸に、教え子たちが待つ最後の教壇へ立とうとする。
24-1	大切な人 ～ネット社会における部落差別と人権～ 34分 2024年度		インターネット上の一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的としたドラマです。

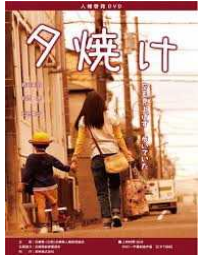
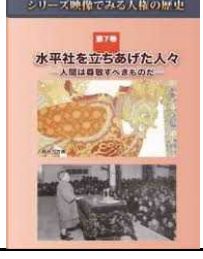
人権啓発DVD一覧

教材番号	題名 時間:購入年度	イメージ	あらすじ・ねらい
24-2	ハラスメントの裏に潜む無意識の偏見 ～アンコンシャス・バイアス～ 24分 2024年度		アンコンシャス・バイアスとは、無意識の偏見や思い込みのことで、日常の何気ない言動の中にも表れ、職場ではハラスメントにつながってしまうこともあります。大切なことは「自分にもアンコンシャス・バイアスはあるはず」と意識してコミュニケーションを行うことです。
24-3	心をつなぐはじめの一步 ～誰ひとり取り残さないための職場の人権シリーズ～ 26分 2024年度		この教材では、ハラスメントをはじめとした職場における人権課題を切り口に、人は価値観や背景など一人一人違うということを理解し、互いを認めて尊重する気持ちの大切さを主人公と共に学んでいきます。職場の誰ひとり取り残さないために、さまざまな人権課題を自分事としてとらえ、誰しものが生き生きと働くためにはどういったコミュニケーションが必要なのか、ドラマを通じてヒントを与えます。
24-4	私と部落とハンセン病 ～ 林 力 99歳の遺言 ～ 26分 2024年度		林力さんの父は国立ハンセン病療養所に隔離された。差別が厳しかった時代、林さんは父の「隠して生きろ」の言葉を忠実に生きる。教員となった林さんは「水平社宣言」と出会う。「恥でないことを恥とするときそれは本当の恥になる」林さんはゆるぎない信念で反差別を貫く。
24-5	ゲイ夫夫(ふうふ)の結婚相談所 ～僕らのように幸せになってほしい～ 27分 2024年度		ずっとゲイを隠してきた二人は2020年にお見合いをし意気投合、今では一緒に暮らし共に活動する最高で最良のパートナーとなった。2021年に神戸にゲイに特化した結婚相談所を開設した。二人の思いはひとつ。パートナーシップ制の先にある同性婚の法的な成立だ。
24-6(協)	パワーハラスメント ～パワハラを受けたらどうする?～ 23分 2024年度		この作品では「パワーハラスメントの解決」を主軸に取り上げます。 実際にパワハラが起きた場合、パワハラ問題をスムーズに解決していく流れ・考え方を提示していきます。また、パワハラの実態と被害者のそれぞれの視点をドラマ事例で取り上げ、問題の根底には何があるのかを分析し、パワハラの実態と被害者の解決方法を提示する内容です。
23-1	バースデイ 性の多様性を認め合う ～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～ 37分 2023年度		性のあり方は多様で一人一人の人権に関わることであるため、性的少数者の存在や悩みに気づくことが大切です。この作品を性的少数者について理解するきっかけとし、その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人が自分らしく生きていける社会につながっていきます。そのような社会の実現をめざすことを目的とした人権啓発ドラマです。
23-2	あなたの笑顔がくれたもの ～周りから見えにくい障害・生きづらさ～ 37分 2023年度		主人公の麻友子は、発達障害である幼馴染の紗希、オストメイト(人工肛門保有者)の女子高生美織、祖母の介護をしている桃田、それぞれの周りからは見えにくい生きづらさを抱えている3人との関わり合いによって、自分の思い込みに気づき、変わる決意をします。一人一人が感じ方や考え方も違う人間であることを理解して向き合うことの大切さをこのドラマを通じて学んでいくことができます。

人権啓発DVD一覧

教材番号	題名 時間:購入年度	イメージ	あらすじ・ねらい
23-3	人権のすすめ ～ハラスメント編、いろいろな性編、障害者編～ 25分 2023年度		この教材は、職場における①「ハラスメント編」として、ジェンダーハラスメント他、②「いろいろな性編」として、性のあり方他、③「障害者編」として、無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)他をテーマに取り上げ、それぞれ独立したミニドラマでの「気づき」を通じて、多角的に人権問題を学んでいく内容となっています。
23-4	差別のない社会へ シリーズ映像で見る人権の歴史第10巻～私たちはどう生きるか～ 20分 2023年度		このDVDでは、子どもたちが直面したいじめをきっかけに、実際に4人のゲストティーチャー(被差別部落出身の上川多実さん、電動車椅子ユーザーの伊是名夏子さん、在日コリアン3世の金曙光さん、日本人とアメリカ人とのダブルの千太郎さん)を招いたオンライン学習を通じて、子どもたちが社会にあるさまざまな差別に気づき、自分自身を見つめ直し、より良い生き方をめざす姿をドラマ形式で描いています。
23-5(協)	性の多様性とLGBTQ+ ～誰もが自分らしく生きるために～ 28分 2023年度		「性のあり方」はとても多様で、すべての人に関わりがあるものです。この作品は、「性のあり方」についての基礎知識をわかりやすく解説しながら、典型的でないと言われる性のあり方の人たちへのインタビューを通して、性にはさまざまな形があることや性的マイノリティを取り巻く実情についても伝えます。性のあり方について理解を深めることで、多様性を尊重した誰もが過ごしやすい社会について考えていくことができる教材です。
23-6(協)	言葉があるから・・・ ～無自覚の差別「マイクロアグレッション」～ 31年度 2023年度		「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動を指す「マイクロアグレッション(小さな攻撃性)」。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。属性にとらわれず、ありのままにその人と向き合うことの大切さを描いています。
23-7(協)	よかったら“思い”を聴かせて ～自分も相手も大切にするために～ 29分 2023年度		「ハラスメント」をはじめとした職場における6つの人権テーマを切り口に、相手の想いを聴くこと・自分の想いを伝えること・お互いを受け止め合うことの大切さを登場人物と共に考えていきます。職場の誰ひとり取り残さないために、自分も相手も大切にするためにはどういったコミュニケーションが必要なのかをドラマを通して学んでいく映像教材です。
22-1	知りたいあなたのこと ～視覚障がい者の生活・気持ち～ 21分 2022年度		目が見えないということ、私たちはどこまで想像できているのでしょうか。この作品は、視覚に障がいのある方々の話を通じて、どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのかについて共に考えていく内容となっています。
22-2	知りたいあなたのこと3 ～聞こえない人の生活・気持ち～ 21分 2022年度		私たちは「音のない世界」をどこまで想像できているのでしょうか。聴覚に障がいのある方は周囲に障がいがあることが分かりにくい、困っていても周囲にはなかなか伝わりません。この作品は、聴覚に障がいのある方々の話を通じて、どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのかをともに考えていく内容となっています。

人権啓発DVD一覧

教材番号	題名 時間:購入年度	イメージ	あらすじ・ねらい
22-3	小さな歩みを見つけよう ～お互いを活かし合うための人権シリーズ⑥～ 24分 2022年度		この作品では、①障がい者・ユニバーサルな対応等、②外国人とのコミュニケーション・心理的安全性、③ジェンダー・LGBTQ+・ハラスメント、④働き方と生きがい・コミュニケーション、⑤表現と人権・ハラスメント、⑥働き方・その人らしさ、⑦心理的安全性・コミュニケーション、⑧部落差別・SDGs・SOGIハラ・障がい者差別 の8つの再現ドラマから職場での人権に関する気づきポイントを紹介します。
22-4	夕焼け ～ケアラー～ 35分 2022年度		中学生の主人公は幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族でするのが当たり前」という思い込みから気持ちを押し殺して生活しています。しかし、元ケアラーとの交流によって自分の気持ちや状況を見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。この作品では、お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことがケアラーと家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。
21-1	多様性入門 ～お互いを活かし合うための人権シリーズ①～ 27分 2021年度		この作品は、多様性とは、ある集団が多様な人を受け入れるという認識ではなく、集団に属するすべての個人がそれぞれに個性を持ち、それぞれの違いをお互いが認め、活かし合うことだということをテーマに据えています。このテーマについて、身近で誰もが経験し得る事例を丁寧に解説することで、多様性尊重への入門編です。
21-2	話せてよかった(家庭の人間関係) ～家庭からふりかえる人権～ 27分 2021年度		この作品は、日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案します。家庭の人間関係は、私たちの人権意識を育む基盤です。そこから振り返ることで、組織や社会における意識も見つめ直すことができるのではないのでしょうか。自分の中にある思い込みに気づき、自分も相手も尊重する人間関係を築くために、職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとして役立ててください。
21-3	今そこにいる人としてしっかり出会う ～同和問題～ 24分 2021年度		いま、現在社会でもさまざまな差別の問題が起こっています。本作では、同和問題について理解を深めていただくと同時に、同和問題をモチーフ(主題)に人と人がしっかり出会い、差別とどう向き合っていくのかについてのヒントになる作品となるよう構成されています。ドラマ形式で描いていますので、登場人物の気持ちに寄り添って視聴することができます。
21-4	私たち一人ひとりができること ～当事者意識をもって考えるコロナ差別～ 26分 2021年度		新型コロナウイルス感染症が拡大する中、感染への不安から、感染した方への誹謗中傷や、特定の職業につく人々への不当な差別などの、いわゆる「コロナ差別」が問題となっています。本作品は、「コロナ差別」の特徴と、差別や偏見がなぜ生まれるのか、そして、どのように向き合っていけばよいのかを学べる、ドラマ形式の人権啓発教材です。
20-1	シリーズ映像でみる人権の歴史第7巻 ～水平社を立ち上げた人々～ 17分 2020年度		この作品は、日本の人権の歴史を大きく変えた水平社創立の背景や創立大会の様子、そこに参加した人々の想いを現地の関係者を訪ねて取材し、明らかにしました。自分たちの力で差別をなくそうと立ち上がった人々の姿から学ぶことにより、「差別」や「いじめ」を根絶するため、今何をすべきか問いかけます。◇この作品は、ナレーションを「小学生版」と「中学生以上版」に分けて作成されており、選択して視聴できます。

人権啓発DVD一覧

教材 番号	題名 時間:購入年度	イメージ	あらすじ・ねらい
20-2	お互いの本当がわかる時 ～障害者～ 24分 2020年度		「障がいのある人をどう手助けすればいいのか分からない」という声をよく耳にします。この「お互いの本当が伝わる時」という作品では、障がいのある人が、どんな場面で困っているのか、どんな「バリア」があるのかなどの具体例を挙げ、それをどう取り除いていけばいいのか、また、障がいのある人から発信することの重要性も示しています。
20-3	サラマット—あなたの言葉で— ～SNS時代における外国人の人権～ 36分 2020年度		この作品の主人公・珠美は、新しく職場に来たフィリピン人のミランダに対し、さまざまな違いを「壁」と捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考え方を持つミランダとの対立や交流を通じて、珠美は新たな視点に気づかされ、「違い」はさまざまな問題解決の糸口になることも学んでいきます。
20-4	ハラスメント・しない、させないための双方向のコミュニケーション 20分 2020年度		ハラスメントをしないためには、相手の立場を尊重した上で自分の意思をきちんと伝えることが大切ですが、あわせて「自分に思い込みや偏見があるかもしれない」ことを自覚し、お互いのズレを修正していく双方向のコミュニケーションも重要であることを描いています。